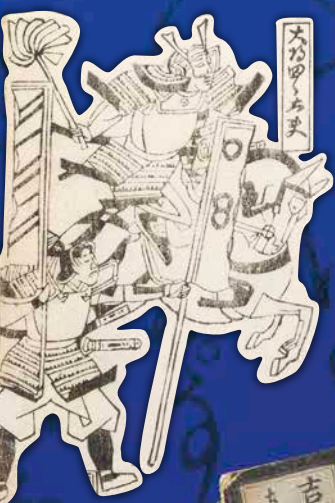


2025.
April
No.198

図書館報

— Seinan Toshokan pou —



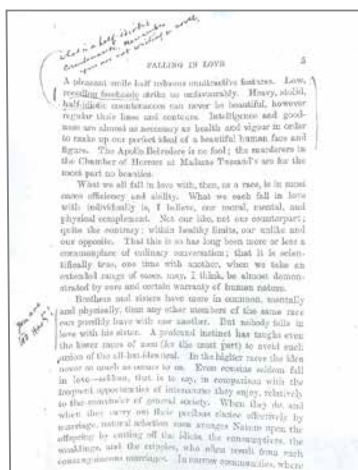
ブックレビュー

新入生に **行** の1冊

- | | | | |
|-------------------------------|--|---|---|
| <p>1 作家の蔵書
図書館長 加藤 洋介</p> | <p>2 ブックレビュー
『現代語訳 学問のすすめ』
学生部長 人間科学部 社会福祉学科 教授 山崎 先也
『紛争解決ってなんだろう』
図書情報課 野間口 有花
『虫めづる姫君 堤中納言物語』
外国語学部 外国語学科3年 松永 くるみ
『夜は短し歩けよ乙女』
人間科学部 社会福祉学科2年 緒方 優璃</p> | <p>3 世界の図書館
オタゴ大学図書館
国際文化学部 国際文化学科 教授 伊藤 慎二</p> <p>4 レシピ本特集
図書情報課 齋藤 珠緒</p> | <p>5 蔵書ギャラリー no.38
『吉利支丹退治物語』
西南学院大学博物館 学芸研究員
鬼束 芽依</p> |
|-------------------------------|--|---|---|

作家の蔵書

東北大学附属図書館の夏目漱石文庫は、漱石研究の貴重な資料として広く知られ、その調査のために多数の研究者が利用します。漱石は蔵書を読むとき、余白に書き込む習慣をもちました。「余は……片端より読み、読みたる箇所に傍註を施し、必要に逢ふ毎にノートを取れり。」※1書き込みから彼の読書中の思考を読みとり、それが創作に及ぼした影響を想像すると、斬新な解釈の視点を得られることがあります。



Grant Allen, *Falling in Love with Other Essays on More Exact Branches of Science*
東北大学附属図書館夏目漱石文庫

かつて同図書館を訪れ、閲覧を願い出ると、職員が貴重書を恭しく箱のなかに入れて閲覧席へ運んでくれました。漱石の蔵書が目まえにあらわれる瞬間、胸が高鳴ったものです。残念ながらいまは同文庫の保護のためにマイクロフィルムをつかって専用機器の画面で閲覧する方法が採用され、往時の高揚を感じることはありませんが、情報を得るには十分です。

例を挙げましょう。同文庫に、漱石がほぼ全ページに書き込みを残したマクス・ノルダウの『退化』の英訳があります。同時代のヨーロッパの退化と衰退を論じた著作であり、漱石がイギリスに留学したころヨーロッパで広く知られました。のちに漱石自身が患う神経衰弱を退化の症状として論じており、彼はこれを精読し、多大な影響を受けました。議論は色彩にも及び、薄紫色は抑鬱の効果をもつと説明します。ヒステリーや神経衰弱の症状が見られる画家はしばしばこの色を偏愛し、画面をこの色で覆うとつづきますが、蔵書のvioletという語に下線が見られ、漱石が関心をもったことがわかります。彼は『虞美人草』で文明の進歩がもたらす退廃を表現し、ヒステリーで卒倒する藤尾という悪女を描きましたが、藤色を暗示する彼女の名前や、彼女が紫色の着物の袖を恋人の面前で振り、その感覚を刺激するという記述にノルダウの議論の記憶が影響したかもしれません。想像の域を出ませんが、この種の想像からしばしば知的探究がはじまります。

ノルダウの議論の思想的枠組みを成した進化論について見ると、漱石がロンドンで書いた手紙に「近頃は……心理学の本やら進化論の本やらやたらに読む」※2とありますが、意外なことに漱石文庫のチャールズ・ダーウィンの『種の起源』に書き込みはなく、読んだ形跡は見られません。『種の起源』はあまり重要思想源でなかったかもしれません。漱石文庫にグラント・アレンという著者の数冊の著作があり、そのなかのダーウィンの研究に目を通したようですが、書き込みは少なく、やはりダーウィンにそれほど関心を示さなかったという印象を受けます。このように、書き込みの不在からも彼の思考や関心を推量できます。

さて、漱石文庫を調査すると、批判的な書き込みが目立つことに気づきます。西洋の進んだ学問、文化、科学技術を摂取することが大いに期待され、奨励された時代でしたが、漱石は、「単に西洋の批評家が言つた事をそのままに解釈しなければならぬ、ソウ解釈したくはないが西洋人が言つたことであるからなどいふのは、西洋に心酔したもので随分馬鹿げた話である」※3と述べ、西洋の学問に対して批判的視点を保ち、独自の基準で判断する必要を強調しました。蔵書の余白はまさに彼自身の判断と態度を言語化する場所でもありました。それを確認するため、前述のグラント・アレンの一冊を開いてみましょう。

アレンの1889年の『恋愛の行動』は、生物学の進化の原理を人間の恋愛に適用し、異性に対する感情と種の存続の関連を指摘しますが、ここでとり上げたいのはその余白の書き込みです。写真が示すように、漱石は“Remember you are not writing a novel”と議論の方法を痛烈に批判し、“You are too Hasty!”とつづけています。また、論文の最後のページに“After all you have proved nothing or suggested nothings”と記し、全体を酷評してもいます。彼はyouという語を繰り返し、著者に対して直接に語りかけるように批判しており、この関係と距離に特有の緊張を感じます。西洋の思想と対決しようとした彼の意志と覚悟がここに垣間見えるように感じます。

「あなたは本当に真面目なんですか。」※4『ころ』の先生はそう語ります。漱石はおそらく真面目という語を好んだ作家でした。漱石文庫の調査から、研究者としてひじょうに真面目だったことがわかります。彼は留学地のロンドンで日本の文化の発展のために下宿に引きこもり、ひじょうに真面目な態度で猛烈に研究しました。帰国後に『文学評論』などの一連の英文学研究をまとめますが、それらは同時代において傑出した仕事であり、驚くことにいまでも研究書として価値をもちます。それらがただ非凡な才能の所産でないことは、漱石文庫の書き込みが伝える研究の態度に明かです。貴重な文庫の現存を喜びたいと思います。

※1『定本 漱石全集第14巻』(岩波書店、2017)9ページ。

※2『定本 漱石全集第22巻』(岩波書店、2019)269ページ。

※3『定本 漱石全集第25巻』(岩波書店、2018)130～31ページ。

※4『定本 漱石全集第9巻』(岩波書店、2017)88ページ。

『現代語訳 学問のすすめ』

福沢諭吉著 斎藤孝訳 筑摩書房 2009年
(3階E:ブックツリー外回り 002/0/212)
学生部長 人間科学部 社会福祉学科 教授
山崎 先也



「学問のすすめ」が福沢諭吉の著書であることは多くの方がご存じだと思います。本書によると、明治の初期に発行された「学問のすすめ」は70万部売れ、当時の大ベストセラー本であったそうです。

しかし、訳者による最近の調査によれば、大学生(数百名)の中で「学問のすすめ」を読んだことがあるという人は0人であったとのこと。かく言う私も本書に出会うまでは「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」というフレーズが書いてある程度しか知りませんでした。

今回、新入生に勧める書籍ということで何か良い本がないかと探していたところ、本書が目にとまりました。読み進めていくうちに、是非とも皆さんに本書を読んで欲しいと思いましたので、本欄で紹介をさせていただきます。

本書は「学問には目的がある」「人間の権利とは何か」「文明社会と法の精神」「怨望は最大の悪徳」「人生設計の技術」「正しい実行力をつける」「人望と人付き合い」など全17編で構成されています。これらの見出しのいずれかに興味を持たれた方は、是非、本書を手にとってみてください。訳者による解説を併せて読むと、現代社会に生きる我々にとっても必読書であることがよりわかると思います。

『虫めづる姫君 堤中納言物語』

作者未詳 蜂飼耳訳 光文社 古典新訳文庫 2015年
(6階B:通常書架 913/384/12)
外国語学部 外国語学科 3年
松永 くるみ



本当の美しさってなんだろう。自分らしさや自分らしく生きることってなんだろう。今までみなさんが生きてきた中で一度は耳にし、考えたことがある言葉ではないでしょうか。

現代では多様性という言葉が社会に溢れ、私たちは昔の人よりずっと多くの自由を手に入れることができています。自由はあるけど入学式にはみんなが選ぶ大手の会社のスーツをきっちり着ていくし、行き当たりばったりではなくSNSで事前に今の流行りの服とかスナップとかを調べてみんなが選ぶものにする、なんだか型にはまった日々を過ごす人が多いのではないのでしょうか。

多様性という言葉は私たちの個性を何でも受け入れてくれるようで、実際は「みんなが支持するもの」しか私たちには届いていないのかもしれない。

なんだか悲しい現実に向き合っているようですが、およそ千年前の日本の物語にも自分らしさや美しさに悩める姫君が存在したのです。高位貴族の娘として生を受けながらも、お齒黒や眉抜きをせず当時の常識や美の基準から外れて生きた姫君。周りの人の批判を真つ向から受けながらも恐れず、自らの考えを貫き生きる姿は力強く読む人に勇気や希望を与えます。

これからの大学生活きつと上手くいくだけでないはず。そんな時に姫君があなたの支えになることを心から願います。

『紛争解決ってなんだろう』

篠田英朗著 筑摩書房 2021年
(5階A:通常書架 319/8/871)
図書情報課
野間口 有花



紛争は場所や人を問わず生じる可能性のあるものです。家庭や学校、職場に加えて、政治や国際社会など、その背景や規模は様々でありながら、「紛争」を目の前にした時、皆さんの頭の中に思い浮かぶことは何でしょうか。

あらゆる紛争を解決するにあたり共通していることは、紛争解決が人間関係に関する「問題解決」に当てはまることであると著者は記しています。人間関係の中で生じている身近な問題をひとつの紛争と捉え、向き合うきっかけになればと思い、新入生にイチ押しの一冊として紹介します。

本書では、身近な紛争を整理する上で鍵となる考え方や対応方法に加えて、現代における紛争解決の国際的な枠組みまで、紛争解決に必要なとされる多角的な視点について知ることができます。最初に専門書を手に取って読むことは少しハードルが高い、そんな新入生にもおすすめの1冊です。

大学生活がスタートし、沢山の出会いが皆さんを待ち受けています。身近な人間関係の問題に限らず、時には遠い国で今起こっている紛争の様子に心を痛め、少しでも解決に繋がる力になりたいという気持ちが芽生えるかもしれません。まずは紛争そのものを理解することから始め、平和的に解決するための考え方や行動について考えてみませんか。

『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦著 角川書店 2006年
(1階E,F:ブックツリー内外(ベストセラーズ) 099/913/51)
人間科学部 社会福祉学科 2年
緒方 優璃



私が新入生の皆さんに読んでいただきたい1冊は、森見登美彦著「夜は短し歩けよ乙女」(角川文庫)です。第20回山本周五郎賞、第4回本屋大賞2位を受賞したベストセラー青春恋愛小説で、映画化や漫画化もされるなど、出版以来多くの人に愛されています。

物語の舞台は京都。「黒髪乙女」に恋焦がれる「先輩」が、彼女を追い求めて京都中を駆け回り、その中で風変わりな登場人物達と出会う物語です。私がこの本をおすすめする理由は、唯一無二の世界観に強く惹かれるからです。独特の語彙で紡がれる京都の町の描写は鮮やかで、没入感たっぷりです。人物の語り口も、どこか大げさで劇的でありながら痛快で、読んでいて軽やかな気持ちになります。「恋心とはこんな風に表現ができるのか!」と驚いてしまいます。

また、装丁も魅力の一つ。表紙のイラストはレトロかわいらしく、鞆にこの一冊が入っているだけで黒髪の乙女のように「二足歩行ロボットのステップ」を軽快に踏んでしまうかも…。

先述した2人を含め、登場人物に大学生が多いため、新入生の皆さんにも親しみやすいのではないのでしょうか。皆さんも、これからのキャンパスライフや、出会うかもしれない運命の人に思いを馳せながら読んでみてください。

世界の図書館

〔ニュージーランド編〕



オタゴ大学図書館 (アオテアロア/ニュージーランド ダニーデン市)

University of Otago Library / Te Pātaka Mātauraka o Ōtākou Whakaihū Waka
<https://www.otago.ac.nz/library>

国際文化学部 国際文化学科 教授 伊藤 慎二

ア オテアロア(ニュージーランドのマオリ語名)は、北半球の日本に対して、ちょうど季節も逆の南半球にある南北に細長い島国です。南北二つの大きな島に分かれ、私は南島東南部ダニーデン市にあるオタゴ大学で在外研究をしています。オタゴ大学は、同国最古の国立総合大学です。私の専門の考古学分野では、オセアニア・東南アジア考古学の研究で世界的に有名な大学です。

現在のダニーデン市は、南島で2番目に人口が多い町です。しかし、19世紀末には、ゴールドラッシュが拍車をかけて一時同国最大の近代都市に発展しました。もともとのポリネシア系マオリ人に加えて、

スコットランドやイングランド・オーストラリア・中国などから多数移民が到来しました。ダニーデンの名称も、スコットランド



〔写真1〕オタゴ大学中央図書館 夏季休暇中で利用者が少ないです。]

の首都エジンバラの古称にちなみます。現在は、私たちと同じ東アジア各国系の人たちや、東南・南アジア系・太平洋島嶼系の人たちも多く街で見かけます。多様な出自の人たちがともに暮らすアオテアロアの多文化主義的考え方は、豊かな図書館教養文化が支えています。ダニーデン市域の各地区に合計6館の身近な地域図書館や移動図書館まであり(※人口は福岡市城南區ぐらいです)、その学術的な頂点にオタゴ大学図書館が位置します。大学図書館といえば、所属学生や教職員だけが独占利用する印象です。ところが、明らかに学外の多様な年齢層の人たちもときどき館内で熱心に調べごとをしています。じつは、おどろいたことに、館内閲覧だけであれば入館証などいっさい不要で、オタゴ大学中央図書館の膨大な開架書架の蔵書をだれでも自由に利用できるのです。

オタゴ大学図書館は、中央図書館・ホッケン図書館・ロバートソン図書館(国立オタゴ専門学校と共有)や、各分校と一部学部に分館など合計9館で構成されています。建物設備だけでなく、館外からのオンラインでの各種閲覧・複写サービスももちろん充実しています。最大の中央図書館は、中央が吹き抜けになった3階建てで、各分野の基本書籍のほか、多数の閲覧席や学習室もあります。学期中は学生利用者であふれかえっていましたが、いま(2024年11月)は3カ月!の夏季休暇期間中で館内は閑散としています。

私がこのところ足しげく通っているのは、ホッケン図書館です。アオ



〔写真2〕ホッケン図書館 春先は周囲の桜と新緑がきれいでした。どこも英語・マオリ語が併記されています。]

テアロア・太平洋の貴重な史資料を膨大に所蔵する同国を代表する調査研究図書館です。展示室も併設されています。

一般利用者向けに、よくある調査対象別に基礎文献一覧を含む参考手引きまで多数準備されています。私も、考古学・文化財・博物館に関する希少本の閲覧・複写・PDF化などで、とてもお世話になってます。そのため、複数の司書の方に顔も覚えられてしまったのですが、ある時びっくりすることがありました。まったく異なる分野の地域資料複数を同時に閲覧請求しました。すると顔なじみの司書の方は、私がなにを調べようとしているのかをたちどころに言いあてたのです。

最近世界各地でよくみる、金の卵を産むガチョウを狭い視野であやめてしまうような「新自由主義」の波が、この国の教育文化行政にも及んできています。しかし、オタゴ大学の図書館は、ダニーデンやアオテアロアの重要な文化基盤です。それは、深い専門的な知識と経験をもつ多数の司書が安定雇用されていることで成り立っているのです。

とことん一つの料理に
ハマりたい、
極めたいあなたに！

料理が苦手でも大丈夫。
まずはおみそ汁から手作りに
チャレンジ！

最低限の材料と時間で、
美味しいごはんが作れる！



『水野仁輔システムカレー学』
水野仁輔著 NHK出版 2024年
(5階C:通常書架 596/3/77)



『毎日おみそ汁365日』
えちいち味増著 自由国民社 2024年
(5階C:通常書架 596/21/32)

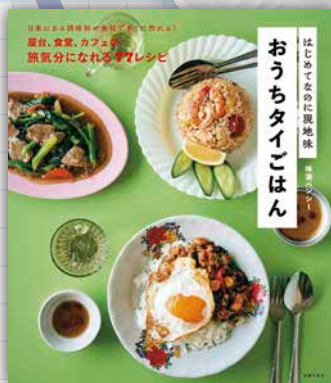


『虚無レシピ』
リュウジ著 サンクチュアリ出版 2023年
(5階C:通常書架 596/0/253)

レシピ本 特集

図書情報課 齋藤 珠緒

ちょっと自炊に慣れてきて、
一味違うジャンルに
トライしたくなったら！



『おうちタイごはん』
味澤ペンシー著 主婦の友社 2023年
(5階C:通常書架 596/22/20)



『頑張らない冷凍弁当』
おすぎ著 KADOKAWA 2024年
(5階C:通常書架 596/4/40)

週に1回だけ頑張って、
毎朝レンジで
チンするだけ！
栄養面もコスバも
Goodな手作り弁当！

皆さん、毎日3食ごはんを食べていますか？大学生活は、高校生活までと比べて自由な時間が増える一方で、「今日のごはん、適当に済ませちゃおう」という日も多くなりがちです。しかし、食事は学業や部活動、アルバイトなど、皆さんの忙しい毎日を支える大切なエネルギー源。ひとり暮らしの方も、自宅生の方も、自分で美味しいごはんを作れるようになると、毎日がより活力あふれる豊かなものになるかもしれません。ということで、皆さんの料理モチベーションをあげたい！という思いを込めて、今回のレシピ本特集をお届けしました。このページで紹介した本は、図書館に所蔵しているレシピ本のほんの一部です。もっと見たい！という方は、「5階C:通常書架」に足を運んでみてくださいね。

そもそも…皆さんは、図書館にレシピ本が所蔵されることをご存じでしたか？大学の図書館は、学術書が多くハードルが高いという印象を持たれがちです。自習場所として図書館を活用することはあるけれど、本はあまり読まないという方も多いのではないのでしょうか。

図書館には、広く豊かな学びを広げる資料として、娯楽的な資料も数多く所蔵しています。このページが、図書館の資料に親しみを持つきっかけになれば…と思いながら、個人的にイチ押しのレシピ本たちを眺めてお腹が空いてしまう筆者でした。

どれも図書館所蔵の資料です。
ぜひ「5階C:通常書架」で
探してみてくださいね！



き り し たん
『吉利支丹退治物語』

[博物館配架]

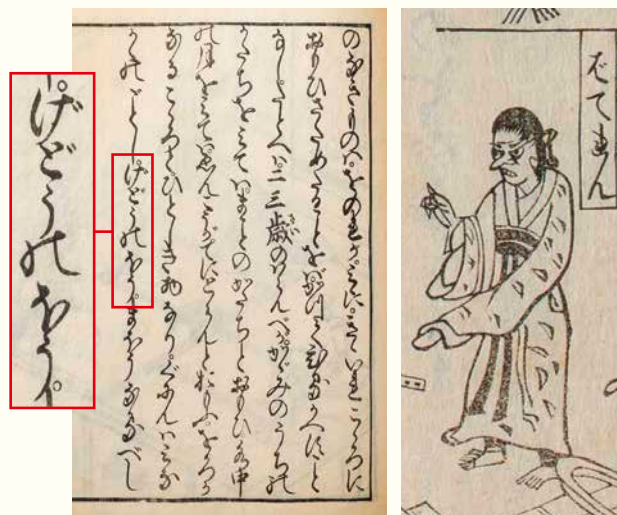
本書は、「耶蘇」(イエス・キリストあるいはキリスト教)を「排除」するために作られた「排耶書」という書物である。昭和4年(1929)に稀書複製会によって覆刻されたもので、底本は京都大学附属図書館が所蔵する『吉利支丹退治物語』(請求記号:1-07/キ/1貴)である。言い換えれば複製本だが、稀書複製会による覆刻本は近世の文学作品を精密に覆刻したもので大変評判がよく、非売品で頒布が限られていたことから、その史料価値は高いといえる。

日本で排耶書が現れたのは慶長年間(1596~1915)の頃とされ、はじめはキリスト教の教えに対して仏教や儒教の指導者が反論を述べる形で著された。それらの多くは漢文調で書かれたため、一般民衆には縁遠い書物であった。

状況を変えたのは、寛永14年(1637)に勃発した島原・天草一揆である。一揆勢にはキリスト教徒が多く含まれていたため、幕府はキリスト教の教えが一般民衆にも伝播していたことを再認識し、その団結力や信仰心を恐れた。そして、キリスト教の教えが悪いものであることを広め、キリスト教を徹底的に排除するために、一般民衆が手に取りやすい排耶書が必要とされた。こうして、仮名草子の排耶書である『吉利支丹物語』が寛永16年(1639)ごろに成立した。それに挿絵を追加して再版されたものが、『吉利支丹退治物語』である。

『吉利支丹退治物語』のあらすじは以下のとおりである。弘治年間(1555~1558)ごろ、「バテレン」(外国人宣教師)が南蛮船に乗って初めて来日した。その見た目については、背が2mほどあり、鼻が高く、目が大きく、手足の爪が長いなどの特徴が記される。挿絵を見てみると、確かに周りの見物人の見た目とは違った風貌の宣教師が描かれている。宣教師をおどろおどろしく描くことで、読む人の興味を引くだけでなく、これから何が起こるのかという不穏な空気が醸し出されている。宣教師はその後、安土に赴いて織田信長に謁見し、様々な贈り物をして布教の許可を得る。落ちぶれた仏教僧を探し金銀を与え、キリスト教の説法をして「イルマン」(修道士)とした。その教えは所詮浅はかなものとされ、そのような教えを真剣に信じている教徒は、「あわれなることどもかな。知恵のなきものは、己が耳に聞き入れ、心に思い定めたことをば、かつて翻すことなし」と、痛烈に批判されている。その後、キリスト教は広まりをみせるものの、秀吉の政策によって取り締まりが始まる。実際に京都や大坂でおこなわれていたという、教徒を「俵責め」にした場面も描かれた。最後は島原・天草一揆の様子が描かれる。一揆勢は「天野四郎」という人物を大将として、「吉利支丹の談義を説かせ、宗体を一途に」し、異議を唱える者は切捨てた

とする。一揆では遺体が山のごとく積み重なり、「四万あまり」の犠牲が出たとし、「昔物語にも、かほど人の滅びたるは聞きもおよばざる御事なり」とした。この物語を読めば、キリスト教の教えがいかに浅はかなもので、そして日本に混乱と多大な犠牲をもたらした「外道の法」であるかを理解することができた。



【図1】左「げどうのほう」 右「ばてれん」(外国人宣教師)の姿

本書はその内容の残虐さからすぐに発禁となった。しかし、当時タブーとされたキリスト教という題材は、人々の関心を惹きつけるものであり、そのストーリーは江戸時代中期に発展した実録とよばれる小説(写本)に引き継がれた。実録では、キリスト教徒の「悪役」ぶりが際立つように大幅な脚色が加えられた。これらは明治時代まで読み継がれ、人々がキリスト教に対して実態とは異なるイメージを持つ要因になった。

歴史を振り返ってみると、政府や影響力のある人物の呼びかけのもと、特定の集団に悪いイメージを与えて排除するということは繰り返しおこなわれてきたし、現在も一部でおこなわれている。実態を知ることせずに、世間的なイメージだけで物事を判断するのは、誤解や偏見を生み出すことにつながりやすい。本書からは、時代が変わっても変わることのない、人間社会の有様をも読み取ることができるのである。

【参考文献】

菊池庸介 2008『近世実録の研究:成長と展開』 汲古書院
南郷晃子・井上舞編 2021『現代語訳 吉利支丹物語(上)』 キリシタン文献を読む会

編集後記

出会いと別れに心が忙しかった時期から一か月ほど。皆さんの新生活も落ち着いてきた頃でしょうか。

今回の図書館報は、日頃あまり本に触れない方にも、図書館の資料に興味を持ってもらえるようなコーナーを意識してみました。いかがでしたか?…なんて、こんな隅にある編集後記にまで目を通してくれたあなたは、きっと読みものが好きな方なのでしょうね。

普段からたくさん本を読む方も、そうでない方も、皆さんが図書館の中で心躍る一冊に出会えますように。

(T.S)

西南学院大学図書館報 No.198

2025年4月30日発行

編集 図書館報編集委員会

発行 西南学院大学図書館

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

Email lib-jm@seinan-gu.ac.jp

https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/

図書館報バックナンバーも上記サイトに掲載しています。

